講義名	管理会計論				
科目区分	学部専門科目				
担当教員	伊藤　正隆				
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 ３時限		授業形態		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメン／ 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング／2014年度 サービス産業学部				
履修開始年次	３年生	単位数	2	備考	

主題と概要

本講義は、会計情報を企業内部における活動や戦略に役立てることを目的とする管理会計の基礎的な知識や考え方を学ぶことが主題です。
本講義では、この「管理会計」の基礎的な考え方や計算技法について理解することを中心として講義を進めます。管理会計とは簡単に言うと会計情報（数値）を用いた経営管理のことである。つまり、意思決定および業績評価を行う際に会計情報を判断材料の１つとして利用することである。管理会計は経営者のみならず、企業内における従業員等にとっても重要な学問である。基本的には講義の始めにプリントを配布し、スライドを利用して講義を行います。なお、講義にあたっては担当教員の説明だけではなく、理解を深めるためにシミュレーション・ゲームや演習問題も行います。

到達目標

管理会計に関する基礎的な知識を習得する。
会計情報を用いて適切な意思決定を行い、業績評価を行うことができる。

提出課題

適宜指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

小テスト実施後に口頭で解説を行います。

評価の基準

平常点（小テストおよび授業への参加度）30%、期末試験70%で評価します。

履修にあたっての注意・助言他

・計算問題を行うことがあるため、電卓（携帯は不可）が必要です。必ず購入して講義には持参してください。
・将来的に経営者志望あるいは管理者になりたい方にオススメです。

教科書

. 使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料：毎講義において配布する。
参考文献：櫻井通晴『管理会計　基礎編』（2010, 同文舘出版）
　　浅田孝幸・頼誠・鈴木研一・中川優・佐々木郁子『管理会計・入門〔第３版〕』（2013, 有斐閣アルマ）

授業計画

第１回　ガイダンス（管理会計とは）
第２回　製品プロダクト・ミックス
第３回　業務的意思決定（自製orアウトソーシング）
第４回　業務的意思決定（特別注文受注の可否および追加加工の可否）
第５回　戦略的意思決定（会計的投資利益法と回収期間法）
第６回　戦略的意思決定（割引現在価値法）
第７回　戦略的意思決定（内部利益率法）
第８回　前半のまとめ
第９回　利益計画
第10回　CVP分析
第11回　予算管理（体系およびプロセス）
第12回　予算管理シミュレーション
第13回　予算管理（学術的研究）
第14回　事業部の業績評価
第15回　全体のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：講義内でプリントを配布して講義を行うため、特に予習を行う必要はない。ただし、指定した参考文献などで予習することは可能である。
復習：毎回宿題を配布します。毎講義の始めに実施する演習問題を解くためにしっかり復習することを要求します。（目安：１講義あたり4時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
公認会計士および税理士としての経験を持つ教員が、実務における経験を活かして、実際の経理事務等の内容も含めた教育を行う。

備考